

令和 7 年度 学校関係者評価報告書

令和 8 年 3 月 3 1 日

学校法人 金沢科学技術学園

金沢科学技術大学校

学校関係者評価委員会

I. 令和7年度 学校関係者評価委員会について

学校法人金沢科学技術学園（専）金沢科学技術大学校は、文部科学省が平成25年3月に策定した「専修学校における学校評価ガイドライン」に基づき実施した教職員の「令和7年度自己点検・自己評価報告書」の結果を踏まえ、令和8年3月23日（月）、学校関係者評価委員会を開催しました。

II. 学校関係者評価委員会 委員名簿

委員氏名	関 連
石倉 喜八朗	高等学校関係者
織田 岳郎	地元企業関係者
飯田 三郎	業界団体関係者
前多 俊弥	1997年度学校卒業者
智口 明美	保護者代表

III. 現状・課題と関係者評価・意見

1. 教育理念・目標・育成人材像

（1）自己評価結果

【4：適切 3：ほぼ適切 2：やや適切 1：不適切】

番号	評価項目	評価
①	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	4
②	学校における職業教育の特色として挙げられるものがあるか	4
③	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を描いているか	4
④	学校の理念・目的・育成人材像・特色などが学生や父母等に周知されているか	4

（2）現状と課題及び改善策

「技術教育を通じた人間教育」を理念とする本校が目指すのは、単に専門的な技術や知識を習得した技術者ではなく、問題解決能力等のソフトスキル、そして豊かな人間性をも兼ね備えた人材の育成です。

北陸唯一の総合工業系専門学校としての使命も肝に銘じ、社会に貢献できる産業技術者の育成に教職員が一丸となって取り組んでいます。

（3）委員の意見等

社会の多様化に伴う技術の変化は、我々の予想を上回る速さである。社会が求める人

材の育成に引き続き努めていただきたい。

2. 学校運営

(1) 自己評価結果

【4：適切 3：ほぼ適切 2：やや適切 1：不適切】

番号	評価項目	評価
①	学校の運営方針は明確に定められ、教職員に明示され、伝わっているか	4
②	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4
③	運営方針を基にした各種諸規定や、人事・給与に関する諸規定は整備されているか	4
④	運営組織や意思決定機能は、規則等で明確に位置づけられ有効に機能しているか	4
⑤	教育活動に対する情報公開が適切になされているか	4
⑥	情報システム化等による、業務の効率化が図られているか	3

(2) 現状と課題及び改善策

月1回開催していた学科長会議を、今年度から常勤職員（一部除く）が参加する月例会議に改め、学校運営に係る情報共有や共通認識をより一層図るとともに、各学科と関係部署が協力し、且つ責任を持って業務に取り組んでいくことを確認しています。

事業計画や諸規定は運営方針に基づき策定し、適正に運用しています。

本校のホームページにおいて、学校関係者評価等の情報公開をしています。

今年度、作業管理の効率化、業務負担のさらなる削減を図るために、学生に関する種々の情報を一元管理できるシステムを導入し、本格稼働させる予定です。

(3) 委員の意見等

新しいシステムを導入し業務の効率化を図ることが、学生に対してより一層の丁寧な指導につながることを期待している。

3. 教育活動

(1) 自己評価結果

【4：適切 3：ほぼ適切 2：やや適切 1：不適切】

番号	評価項目	評価
①	教育理念に沿って、教育カリキュラムや授業内容が編成されているか	4

	るか	
②	修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
③	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
④	実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
⑤	関連分野の関係施設等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
⑥	授業評価の実施・評価体制はあるか	3
⑦	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
⑧	人材育成目標の達成に向け、授業要件を備えた教員を確保しているか	4
⑨	先端的な知識・技術等を修得するための研修や教員の資質向上のための取組が行われているか	3
⑩	職員の能力開発のための職場内研修は行われているか	3

（２）現状と課題及び改善策

各学科・コースのカリキュラムは、社会の方向性や求められる技術を見極めながら、毎年見直し、改善を行っています。

成績評価等に関しては、本校の学則および施行細則に明確に定められています。

学生と保護者等による授業評価や学校評価を年に１回実施し、結果を授業改善等につながるようその活用に努めています。

可能な範囲で研修会に参加するほか、業界関係者との情報交換を積極的に行うことで現場の今を知ることに努めています。

また、教員としての資質向上につながることを期待して、不定期ではありますが、著名な教育者や経営者の言葉を紹介する取り組みも行っています。

（３）委員の意見等

授業評価や学校評価を適切に行うことは学校改善のために大変重要である。回収率をさらに上げるために、設問項目を精選し短時間で回答できるようにすることも考えてみてはどうか。

４．学生指導

（１）自己評価結果

【４：適切 ３：ほぼ適切 ２：やや適切 １：不適切】

番号	評価項目	評価
①	基本的生活習慣の確立のための取組が行われているか	4
②	学生の安全管理のための取組等が行われているのか	4

（２）現状と課題及び改善策

遅刻、欠席の状況や授業態度等から、基本的生活習慣に課題があると思われる学生には随時面談を行い、私生活のあり方、進路や学業あるいは人間関係等の悩みの有無などを聴き取り、状況によっては保護者等を交えた三者面談を行い、改善に向けての適切な指導に努めています。

学生には機会あるたびに生活安全や交通安全などの安全教育を行い、事故等を未然に防ぐことができるよう指導しています。

（３）委員の意見等

多様な学生が在籍していることと思うが、職業教育機関として一人ひとりに寄り添い彼らの成長を促し、社会で活躍できる人材の育成に尽力していただきたい。

5. 教育成果

（１）自己評価結果

【4：適切 3：ほぼ適切 2：やや適切 1：不適切】

番号	評価項目	評価
①	就職率の向上が図られているか	4
②	資格取得率の向上が図られているか	4
③	退学率の低減が図られているか	4
④	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4

（２）現状と課題及び改善策

就職課と各学科が連携して就職支援を行い、今年度もほぼ例年通りの高い就職率となっています。

自動車工学科は2級整備士合格100%の維持はもとより、この3月に卒業した本校初の1級コース修了者4名の1級整備士合格を目指しています。また、建築学科においては在学中に2級建築士に合格する学生が初めて誕生しました。今後も教員による計画的な指導と学生自らの資格取得に対する向上心を高めていきたいと考えています。

学生の退学につながるような兆候をできるだけ早期に発見し、保護者等とも連携しながら学生のケアに努めていることで、ある程度は退学率の抑制につながっていると捉えていますが、大幅な低減には至っていません。

在校生や卒業生の活躍等については、学校案内誌やホームページで紹介しています。

(3) 委員の意見等

安定した就職率を維持することは学校への信頼につながる。各学科と就職課が情報共有を密にし、ミスマッチが起きないように学生への適切な支援を引き続きお願いしたい。

6. 学生支援

(1) 自己評価結果

【4：適切 3：ほぼ適切 2：やや適切 1：不適切】

番号	評価項目	評価
①	進路・就職に対する支援体制は整備されているか	4
②	学生相談に対する体制は整備され、有効に機能しているか	4
③	学生に対する経済的な支援体制は整備され、有効に機能しているか	4
④	学生の健康管理を担う組織体制は整備され、有効に機能しているか	4
⑤	課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
⑥	学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか	4
⑦	保護者と適切に連携しているか	4
⑧	卒業生への支援体制はあるか	3

(2) 現状と課題及び改善策

就職の支援のほか、学生の様々な相談に対しては、各課、各学科が連携しながら対応しています。経済的な支援についても、就学支援新制度認定校としての措置のほか、本校独自の授業料の減免や、学納金の分納について個別に対応を行っています。

毎年、全学生を対象とした健康診断を実施し、診断結果に対して医療専門機関よりサポートされる体制をとっています。

これまで実施してきたスポーツイベントに加えて、今年度は学内イベントとして「KISTIVAL」を初開催しました。全学生が参加し、所属学科を超えた学生間の交流はもちろん、教員と学生との交流も活発に行われ、大変有意義であったと思っています。

今年度は、保護者向けの連絡網を活用し情報発信の数を増やす試みを行いました。引き続き保護者等との情報共有、共通認識をしっかりと図っていきます。

卒業生への支援としては、再就職等についての相談があった場合などにできる限り対応、支援を行っています。

(3) 委員の意見等

オンラインによる企業説明会のみならず試験まで行われるということであるが、そう

した時代の動きに迅速に対応していることを評価したい。

7. 教育環境

(1) 自己評価結果

【4：適切 3：ほぼ適切 2：やや適切 1：不適切】

番号	評価項目	評価
①	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
②	学外実習等について十分な教育体制を整備しているか	4
③	防災に対する体制は整備されているか	4

(2) 現状と課題及び改善策

施設・設備については、毎年各課・各学科から導入機材の希望リストを提出してもらい、計画的に整備しています。今年度においては、別館のキュービクルの交換や映像音響学科で使用しているパソコン 21 台を新機種に入れ替えることなどを実施しました。また、教材車両としてホンダフィット5台、三菱アウトランダーPHEV 新車1台の寄贈など業界からのご支援もいただきました。

学科ごとに工場見学やイベント見学など有意義な学外実習を行っています。

総務課に防災・安全係を置き、全職員で防災対策に関する事項や点検体制の明確化と異常箇所の処理に関する事項に取り組んでいます。

(3) 委員の意見等

教育環境の整備については、引き続き計画的に進めていただくことをお願いしたい。また、災害への備えについても適切に行い、万全を期していただきたい。

8. 学生の受け入れ募集

(1) 自己評価結果

【4：適切 3：ほぼ適切 2：やや適切 1：不適切】

番号	評価項目	評価
①	学生募集活動は、適正に行われているか	4
②	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
③	入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか	4
④	学納金は妥当なものになっているか	4

（２）現状と課題及び改善策

学生の募集活動は、広報課を中心に年間を通じて計画的且つ柔軟に実施しています。高校訪問や高校生向けガイダンスをはじめ、ホームページや学校案内誌等で本校の教育成果も含め様々な情報を正しく伝えることに努めています。特に、毎月開催しているオープンキャンパスは参加者やその保護者と本校の教員、学生が直接交わることができる貴重な機会であり、充実した時間となるように工夫を重ねています。

また自動車工学科においては、毎年、石川運輸支局および石川県自動車整備振興会の方々と一緒に県内の高校を訪問しており、業界と連携した人材確保に向けた活動を行っています。

入学選考は、全受験区分で書類審査と面接を行い、区分によってはこれに加えて適性検査、基礎学力試験を実施し、これらを基に適正かつ公平な基準に沿って合否を決定しています。

学納金については、他の工業系の専門学校と比較しても、妥当な金額であると考えています。

（３）委員の意見等

「整備士の魅力」動画は良いアイデアであり、整備士に対しての興味関心につながっていくような作品にもなっていると思う。ぜひ活用していただきたい。また、本校の立地的な条件を考えると、学校の魅力とともに金沢の魅力をもっとアピールして強みにしていくことはできないだろうか。

9. 財務

（１）自己評価結果

【4：適切 3：ほぼ適切 2：やや適切 1：不適切】

番号	評価項目	評価
①	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
②	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
③	財務について、会計監査が適正に行われているか	4
④	財務情報公開の体制整備はできているか	4

（２）現状と課題及び改善策

現在、中長期的に見て経営基盤は安定しており、事業計画に基づいた適切な予算組を行い、事業を実施しています。会計監査は、選任された監事2名により毎年実施され、監査報告書が作成されています。こうした財務の情報については、本校が高等教育就学支援制度の対象校ということもあり、ホームページ上に公表しています。

(3) 委員の意見等

財務状況に不安な点は見受けられない。今後ますます進む18歳人口の減少を念頭に適正な財務を行っていただきたい。

10. 法令等の順守

(1) 自己評価結果

【4：適切 3：ほぼ適切 2：やや適切 1：不適切】

番号	評価項目	評価
①	法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
②	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
③	自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4
④	自己点検・自己評価結果を公表しているか	4

(2) 現状と課題及び改善策

法令及び専修学校設置基準を遵守し、適正な学校運営を行っています。個人情報についても厳正に管理しています。

毎年度、自己点検・自己評価を実施し、現状と課題を明らかにするとともにその改善に取り組んでいます。この自己点検・自己評価結果はホームページ上に公表しています。

(3) 委員の意見等

引き続き適正な学校運営をお願いしたい。

11. 社会貢献・地域貢献

(1) 自己評価結果

【4：適切 3：ほぼ適切 2：やや適切 1：不適切】

番号	評価項目	評価
①	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3
②	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3
③	地域に対する公開講座・出張講座・教育訓練（公共職業訓練等）の受託等を積極的に実施しているか	3

(2) 現状と課題及び改善策

他団体の資格試験や模擬試験の会場として本校の教室を活用していただいております、今後も支障のない範囲で施設開放などを行っていきたいと考えています。

今年度も映像音響学科の学生が「山代大田楽」の記録撮影などの業務を行いました。

「学びフェスタ 2025」において、本校は「自動車・エンジンの仕組みを知ろう」の体験講座を2日間開催し、参加希望者の中から抽選で選ばれた **20** 名の中学生が自動車工学科の教員の指導のもと、**120cc** 小型エンジンの組み立てに興味津々で体験を楽しんでいました。

(3) 委員の意見等

今後も可能な範囲で社会貢献、地域貢献に努めていただきたい。